



大観局 第258号
平成29年12月20日

内閣総理大臣 安倍晋三 様

公益財団法人 大阪観光局
理事長 溝畑 宏



2019年G20サミット首脳会議の大阪開催について

平素は大阪の観光振興につきまして格別のご指導、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、古来大阪が難波津と呼ばれた時代より船が安全に航海できる為の役割を担って、大阪湾に設置されていた滯標（みおつくし）を目印に海外から数多くの人々が大阪を訪れ、また都を目指しました。まさに大阪は日本外交の窓口としての機能を果たして参りました。今では、この滯標は大阪市の市章ともなっております。

現在、大阪は関西・西日本の観光のハブとして、国が推進する観光立国の施策の下、大阪府・大阪市・経済団体及び大阪観光局が連携してインバウンドや MICE 推進事業を戦略的に取り組んでおり、今や大阪はアメリカのマスターカードによる「急成長渡航先ランキング」で昨年に続いて2年連続1位にランキングされるなど、日本でも有数の訪日外国人観光客が訪れる都市として大阪・関西の活性化の一翼を担っているところであります。

このような折に世界経済に大きな影響を与える「G20サミット」が2019年に我が国において初めて開催されます。近年、G20サミットは世界経済のみならずエネルギー問題、テロ対策等、世界各国が抱える重要な課題について熱心に議論される場となっており、2019年に日本から発信されるその内容はまさに世界の注目の的であり、大きな影響を与えるものと言えます。

G20サミット首脳会議が大阪で開催されることは都市格の向上や知名度の向上はもとより、この会議の開催が滯標となって今後数多くの国際会議が日本で開催される大きな動機付けになり、日本がアジアにおける国際会議開催国として不動の位置を占めるために大きく寄与できるものと確信致します。

大阪観光局は大阪府、大阪市、地元経済界と連携し、グローバル MICE 都市「大阪」の強みを活かし、これまで培ってきた MICE 支援の実績を最大限に発揮することにより、G20サミット首脳会議を成功裏に終えるために最大限の貢献ができるよう努めて参る所存です。

大阪において2019年G20サミット首脳会議が開催されることを強く希望致します。